府中市自然環境調査　野鳥　　2019年度　　観察場所：武蔵台公園　観察時間：9時30分～11時10分　　観察担当者　橋本，多田，宮島

				19年度観察数													
		観察月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	観察月数	観察数合計
		観察日		12	18	12	10	20	11	9	5	11	13	12	11		
番号	番号	科	名称　天気	曇	曇	曇	曇	雲	晴	晴	晴	晴	晴	雲	晴		
9	1	ｶﾓ	ｶﾙｶﾞﾓ		4											1	4
20	2	ﾊﾄ	ｷｼﾞﾊﾞﾄ	3	1	2	4		2		2	2	1	1	2	10	20
33	3	ｶｯｺｳ	ﾂﾂﾄﾞﾘ													0	0
50	4	ﾄﾋﾞ	ﾄﾋﾞ　VU													0	0
51	5	ﾀｶ	ﾂﾐ　CR													0	0
58	6	ｷﾂﾂｷ	ｺｹﾞﾗ	2	2	5	5		2	2	4	3	2	2	1	11	30
59	7	ｷﾂﾂｷ	ｱｶｹﾞﾗ　NT													0	0
60	8	ｷﾂﾂｷ	ｱｵｹﾞﾗ　NT	1	1			2	1	1			1	1	1	8	9
62	9	ﾊﾔﾌﾞｻ	ﾊﾔﾌﾞｻ　VU													0	0
64	10	ﾓｽﾞ	ﾓｽﾞ　VU							1						1	1
65	11	ｶﾗｽ	ｶｹｽ													0	0
66	12	ｶﾗｽ	ｵﾅｶﾞ		2	3	4		1	6		6				6	22
67	13	ｶﾗｽ	ﾊｼﾎﾞｿｶﾞﾗｽ	2			7	3	5	3	2	8	1	3	7	10	41
68	14	ｶﾗｽ	ﾊｼﾌﾞﾄｶﾞﾗｽ	3	6	4	4	10	12	6	6	6	4	2	4	12	67
70	15	ｼｼﾞｭｳｶﾗ	ﾔﾏｶﾞﾗ								1	2	1	1		4	5
72	16	ｼｼﾞｭｳｶﾗ	ｼｼﾞｭｳｶﾗ	8	10	8	23		11	18	18	2	7	8	17	11	130
74	17	ﾂﾊﾞﾒ	ﾂﾊﾞﾒ	1			11									2	12
76	18	ﾂﾊﾞﾒ	ｲﾜﾂﾊﾞﾒ				2									1	2
77	19	ﾋﾖﾄﾞﾘ	ﾋﾖﾄﾞﾘ	14	14	14	7		7	23	29	15	20	14	11	11	168
78	20	ｳｸﾞｲｽ	ｳｸﾞｲｽ　NT	4			2				4	2	2	1	2	7	17
79	21	ｴﾅｶﾞ	ｴﾅｶﾞ　NT	2		3	21		12			10	15	4	2	8	69
82	22	ﾒｼﾞﾛ	ﾒｼﾞﾛ	4	6		19		5	6	7	16	11	2	3	10	79
86	23	ﾑｸﾄﾞﾘ	ﾑｸﾄﾞﾘ		19		21						5		1	4	46
88	24	ﾋﾞﾀｷ	ｼﾛﾊﾗ	1												1	1
90	25	ﾋﾞﾀｷ	ﾂｸﾞﾐ										1	1		2	2
92	26	ﾋﾀｷ	ﾙﾘﾋﾞﾀｷ													0	0
93	27	ﾋﾞﾀｷ	ｼﾞｮｳﾋﾞﾀｷ												1	1	1
100	28	ｽｽﾞﾒ	ｽｽﾞﾒ													0	0
102	29	ｾｷﾚｲ	ﾊｸｾｷﾚｲ													0	0
106	30	ｱﾄﾘ	ｱﾄﾘ													0	0
107	31	ｱﾄﾘ	ｶﾜﾗﾋﾜ													0	0
111	32	ｱﾄﾘ	ｼﾒ								1			1	1	3	3
113	33	ｱﾄﾘ	ｲｶﾙ　NT													0	0
117	34	ﾎｵｼﾞﾛ	ｱｵｼﾞ	2												1	2
	観察種数	**月 / 年**		13	10	7	13	3	10	9	10	11	13	13	13	**22**	

アオゲラ

シロハラ

キジバト

コゲラ

メジロ

ヒヨドリ幼鳥

食痕

エナガ

ツグミ

シメ

ツツドリの尾羽（公園内で発見）

月	19年度　コメント
4	ウグイスの囀りが聞こえた。アオゲラ♂を観察。シロハラ♂が地上で採餌していた。
5	歩く先々でムクドリが採餌し、飛び交っていた。ガビチョウが営巣しているようだ。
6	シジュウカラの幼鳥が飛び回っていた。シジュウカラ、コゲラ、エナガの混群が見られた。
7	武蔵台公園では、イワツバメは初認。シジュウカラ、エナガ、メジロ、ヒヨドリの幼鳥を確認。繁殖を証明。キジバトと思われる食痕確認。猛禽類のエサ場となっている。
8	19日夜半の雷雨で散策路の枯葉が流され綺麗になっていた。鳥の声も姿も少ない中、藪でガビチョウが2羽動き回っていた。
9	9日早朝の台風の影響で倒木が見られた。カラスの数が目立ったが、シジュウカラ、エナガなどの混群が観察された。
10	アオゲラの鳴声が聞こえ、♀を確認。混群が見られず、エナガが確認できなかった。
11	今季初のシメが姿を現わした。ヒヨドリが全域で追いかけあう姿が見られた。ウグイスの地鳴きが聞こえ、ヤマガラが現れた。
12	エナガ、メジロ、コゲラの混群が観察されたが、その中に、シジュウカラの姿は見られなかった。オナガの群れも観察された。
1	天候も良く、盛んにムシをとる姿がじっくり観察できた。今シーズン初めてツグミの声を確認。旧警察病院との間の塀が撤去されていた。
2	旧警察病院の樹木の伐採が進み、以前小鳥が来ていた木も切られていた。混群がばらけている。藪にソウシチョウ、ガビチョウが来ていた。
3	シジュウカラの囀（さえず）りが盛んに聞こえた。ウグイスの囀りも聞こえた。エナガ、メジロなども混群ではなくペアで飛び回っていた。

注1：表の最下段は月ごとの観察種数と年間の観察種数。

注2：名称欄記号は、2010年度東京都レッドデータ、北多摩のカテゴリー表示。

その他

観察月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ｶﾜﾗﾊﾞﾄ		4						2			8	23	22
ｶﾞﾋﾞﾁｮｳ			2			2		2			2	2	2
ｿｳｼﾁｮｳ												3	
ﾎﾝｾｲｲﾝｺ			2										

レッドリスト表示について
名称欄に東京都レッドリストのカテゴリー表示を行った。カテゴリー表示の条件を以下に示す。
2010年版　東京都レッドリスト
対象地域　北多摩の評価による

カテゴリー名称	表示	基本概念
絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における野生で絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、ごく近い将来における野生で絶滅の危険性の高いもの
絶滅危惧Ⅱ類	VU	現在の状況をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、使い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」としての上位ランクに移行する要素を有するもの